

# パワーオプティマイザ

## 住宅用

S440 / S500 / S500B / S650B



パワーオプティマイザ

### モジュールレベルでの太陽電池出力最適化

- ソーラーエッジの住宅用パワーコンディショナと連携する特別設計
- コネクタの異常な動作を検出し、安全上の潜在的な問題を予防\*
- 設置業者および消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン
- 優れた変換効率（99.5%）
- 製造公差から部分影までモジュールのあらゆるミスマッチロスを解決
- シンプルなケーブル管理とボルト1本で固定する簡単で迅速な設置
- 最大のスペース利用のための柔軟性のあるシステムデザイン
- 両面モジュールとの互換性あり

\* パワーコンディショナの機種およびファームウェアバージョンによって機能は異なります

# パワーオプティマイザ

## 住宅用

S440 / S500 / S500B / S650B

	S440	S500	S500B	S650B	単位	
<b>入力</b>						
定格直流入力電力 <sup>(1)</sup>	440	500		650	W	
絶対最大入力電圧 (最低温度でのVoc)	60		125	85	Vdc	
MPP動作範囲	8 - 60		12.5 - 105	12.5 - 85	Vdc	
最大短絡電流 (Isc)	14.5		15		Adc	
最大効率		99.5			%	
実質効率		98.6			%	
過電圧カテゴリー		II				
<b>稼働時出力</b>						
最大出力電流		15			Adc	
最大出力電圧	60		80		Vdc	
<b>非稼働時出力電圧 (パワーコンディショナからパワーオプティマイザが切断されているまたはパワーコンディショナのオフ時)</b>						
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧		1 ± 0.1			Vdc	
<b>適合規格<sup>(2)</sup></b>						
EMC	FCC Part 15 Class B、IEC61000-6-2、IEC61000-6-3、CISPR11、EN-55011					
安全性	IEC62109-1 (クラスII安全性)、UL1741					
材料	UL94 V-0、UV耐久性					
RoHS	対応					
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2018-12					
<b>設置仕様</b>						
最大許容システム電圧		1000			Vdc	
寸法 (幅 x 長さ x 奥行き)	129 x 155 x 30		129 x 165 x 45		mm	
重量	720		790		g	
入力コネクタ	MC4 <sup>(3)</sup>					
入力ワイヤー長	0.1					m
出力コネクタ	MC4					
出力ワイヤー長	(+) 2.3, (-) 0.10					m
動作温度範囲 <sup>(4)</sup>	-40 ~ +85					°C
耐環境性能	IP68					
相対湿度	0 - 100					%

(1) STCでのモジュールの定格出力がパワーオプティマイザの「定格直流入力電力」を超えないこと。最大+5%の出力公差を持つモジュールが許容されます。

(2) CE対応については、適合宣言 - CEをご覧ください。

(3) 他のコネクタタイプにつきましては、ソーラーエッジにお問合せください。

(4) S440とS500では周囲温度が+85°Cより高い場合、S500BとS650Bでは周囲温度が+75°Cより高い場合、出力抑制がかかります。

詳細はパワーオプティマイザ 温度ディレーティングのテクニカルノートを参照してください。

ソーラーエッジパワーコンディショナを使用したPVシステム設計 <sup>(5)</sup>		SE5500H-JPJ / SE5500H AC-S	
最小ストリング長 (パワーオプティマイザ)	S440、S500 S500B、S650B	8 6	
最大ストリング長 (パワーオプティマイザ)		25	
ストリング毎の最大電力 <sup>(6)</sup>		13750	W
異なるストリング長と向きでの並列入力接続		対応	

(5) 新規設置でSシリーズとPシリーズのパワーオプティマイザを混在して使用することはできません。

(6) SE5500H-JPJおよびSE5500H AC-Sにおける複数ストリングの設計は、ストリング間の電力差が1,000W以下の場合にのみ可能です。

